

Section 1

価値創造のあゆみ

コーポレートストーリー	21
価値創造のはじまり	23
コアコンピタンス	24
大切にしている価値観	30
バリューチェーン	37
経営資本	39

STORYLINE

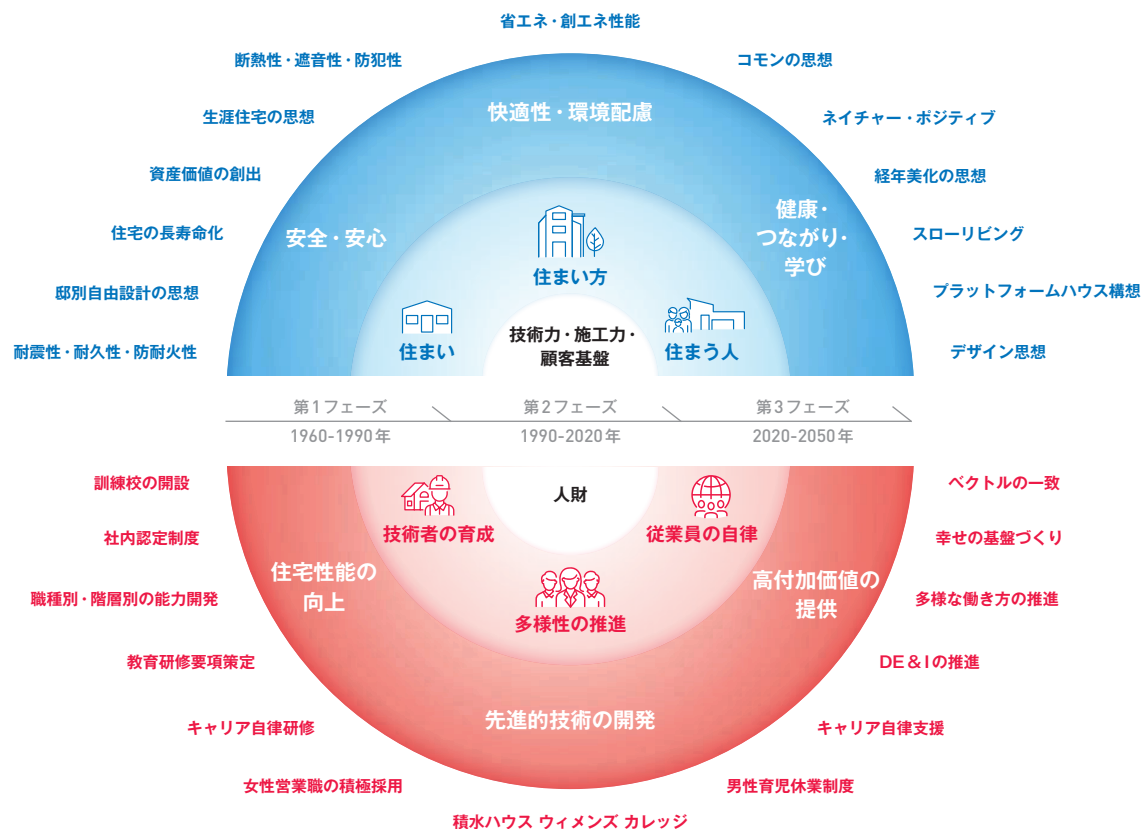


Point

- 創業から60年以上にわたる積水ハウスグループの歩みや築きあげてきた強みの説明
- さらなる価値創造を可能にする独自の組織文化やバリューチェーン、経営資本について紹介

コーポレートストーリー

積水ハウスグループの価値創造



時代とともに変化する社会課題を起点に、さまざまな思想や技術を生み出してきた積水ハウスグループの価値創造の歩みは、3つのフェーズに分けることができます。価値創造の原動力となるコアコンピタンスの強化と人財価値の向上を通じて、さらなる価値創造に取り組んでいます。

第1フェーズ 1960～1990年

戦後の住宅不足を解消するため、耐震性や耐久性や耐火性など住宅の基本性能の向上に取り組み、住まいの「安全・安心」という価値を提供。



第2フェーズ 1990～2020年

断熱性や耐久性、ユニバーサルデザインや住宅の省エネルギー化など、心地よい住まい方により豊かな未来を実現する「快適性・環境配慮」という価値を創造。



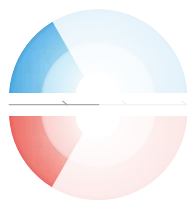
第3フェーズ 2020～2050年

人生100年時代の幸せを実現する住まいを目指し、「健康・つながり・学び」という新たな価値創造へ向け、さらなる技術革新と高付加価値の提供を加速しています。



コーポレートストーリー
積水ハウスグループの価値創造

第1フェーズ 1960～1990年



住宅不足の解消を実現するとともに、災害の多い日本において耐震性・耐久性・断熱性という住まいの基本性能を向上。開発・販売・生産・施工・アフターサービスの直接販売・責任施工体制も確立。革新的な技術やサービスを生み出し、技術を継承する技術者の育成に取り組まれました。

住宅性能の向上

1961
生産拠点(滋賀工場)開設
(2009年生産機能停止)

1987
カスタマーズセンター設立

1990
先進的技術の研究開発を行う総合住宅研究所開設



1961
「セキスイハウスB型」誕生



1964
直接販売・責任施工体制の確立



1979
実大振動実験による住宅の耐震性実証



1984
美しい質感と機能性を持つ「ダイコンクリート」外壁材を採用



1989
すべての人が「いつも今が快適」という「生涯住宅」思想を確立

技術者の育成

革新的な技術やサービスを生む人財の育成・技術の継承

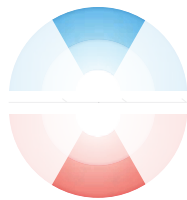
- ・技術者育成を育成する職業訓練校
- ・職種別・階層別の能力開発
- ・教育研修要項
- ・独自の認定制度
- ・「運命協同体」



提供価値

安全・安心
住宅性能の向上
短工期の工業化住宅の普及による住宅難解消

第2フェーズ 1990～2020年



快適な暮らしが求められる一方で環境問題が課題となり、先進的技術を開発。心地よさと住宅の省エネルギー化などの環境配慮を実現するとともに、より豊かなまちづくりも追求。従業員の多様性をイノベーション&コミュニケーションにつなげる取り組みに注力しました。

先進的技術の開発

2002
ユニバーサルデザイン展開開始

2009
グリーンファースト戦略開始

2018
日本初、幸せを調査・研究する住生活研究所開設



1996
住宅業界初、高性能遮断断熱複層ガラスを標準採用



2003
住宅メーカー初、「次世代省エネルギー仕様」を新築戸建住宅に標準採用



2003
瓦一体型太陽光発電システムを開発



2011
空気環境配慮仕様「エアキス」開発



2018
大空間を実現する「ファミリー スイート」発売

多様性の推進

多様な視点や経験を持つ人財の活躍

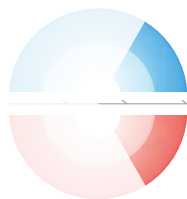
- ・女性活躍推進・男性育児休業制度
- ・障がい者雇用促進
- ・キャリア自律研修
- ・働き方改革
- ・人権の尊重



提供価値

快適性・環境配慮
快適さや生活環境の改善
地球環境への配慮・持続可能な都市環境

第3フェーズ 2020～2050年



住まい方の多様化とともに、人生100年時代を迎えるに当たり、ハード・ソフト・サービスを融合した高付加価値を追求。60年間培ってきた技術をさらに進歩させ、幸せという新たな価値を創造するため、従業員の自律を支援し、イノベーションの創発につなげる取り組みに努めています。

高付加価値の提供

2019
人生100年時代の幸せをアシストするプラットフォームハウス構想発表



2020
在宅時急性疾患早期対応ネットワーク「HED-Net」を開発、実証実験による検証を実施
* In-Home Early Detection Network



2020
空気を綺麗に保ち室温もコントロールする次世代室内環境システム「SMART-ECS」開発



2021
住まいの状態確認・設備の遠隔操作ができる「PLATFORM HOUSE touch」開発



2023
感性を住まいに映し出すデザインシステム「life knit design」開始

従業員の自律

人財価値を最大化する従業員の自律とベクトルの一致

- ・キャリア自律支援
- ・創発型表彰制度「SHIP」
- ・キャリア面談・ESG対話
- ・次世代リーダーの創出
- ・幸せの基盤づくり



提供価値

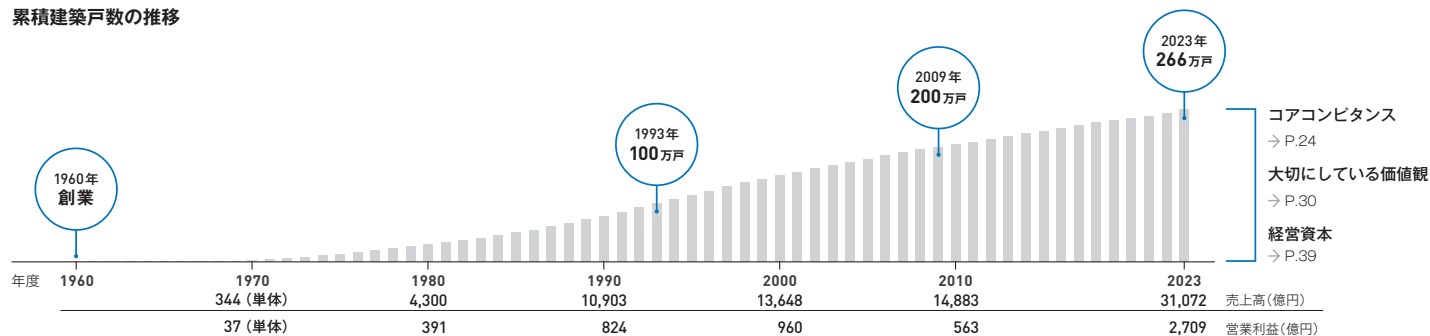
健康・つながり・学び
人生100年時代の幸せ
健康をアシスト
人とのつながり
経験や学び

価値創造のはじまり

積水ハウスグループの歩みは、日本の住宅産業の変遷を象徴しています。住宅不足を解消するため、住宅性能の向上や先進的技術の開発を続けながら事業領域を拡大してきました。

2020年度からスタートした第3フェーズでは、これまで築き上げてきたコアコンピタンスを強みとし、ハード・ソフト・サービスを融合した高付加価値の提供へ向け、創業以来積みあげてきた資本を活用し、大切にしている価値観を深めながら、新たな価値を創造し続けていきます。

累積建築戸数の推移



コアコンピタンス
→ P.24
大切にしている価値観
→ P.30
経営資本
→ P.39

ハード

第1フェーズ 住宅性能の向上

ハード&ソフト

第2フェーズ 先進的技術の開発

ハード&ソフト&サービス

第3フェーズ 高付加価値の提供

健康・つながり・学び

快適性・環境配慮

安全・安心

→ P.83 積水ハウスの強みとなるハード・ソフト・サービス

人々の命と財産を守る情熱と姿勢が積水ハウスグループの価値創造のはじまりです。

燃えない家をつくりたい

戦後の空襲により、多くの住宅が焼失し、住宅不足が続いていた1950年代後半の日本。一軒でも多くの家を、より早く供給することが喫緊の課題でした。従来、日本の住宅は木と紙と土でできており、世界的にも、鉄骨で家をつくるという考えが存在しなかった時代。人々の命と財産を守るため、燃えない家をつくりたい。その想いが、積水ハウスのはじまりです。



建築新時代の先駆者

4人の住宅建築未経験者が開発したのは、鉄とアルミとプラスチックによる燃えない家。当時の建築手法や材料の常識を覆した鉄骨プレハブ住宅は、画期的なことでした。

人が住めるプレハブ住宅

1960年、木造住宅が主流の時代に登場したプレハブ工法の本格住宅「セキスイハウスA型」。洋風キッチンやダイニングルームを設置し、新たなライフスタイルのきっかけとなりました。



日本中に住宅を

1961年、住宅不足を自らの手で解消し高品質な住まいを提供するためには、自社で責任を持って部材を生産すべきと考え、滋賀工場を開設。短工期の住宅の工業化を進めていきました。



技術や思想の根幹が誕生

1961年、性能とデザインを充実させた「セキスイハウスB型」発売。住宅業界初メーターモジュールを採用。ゆったりとした空間と自由設計を実現し、当社の技術や思想の根幹が誕生しました。

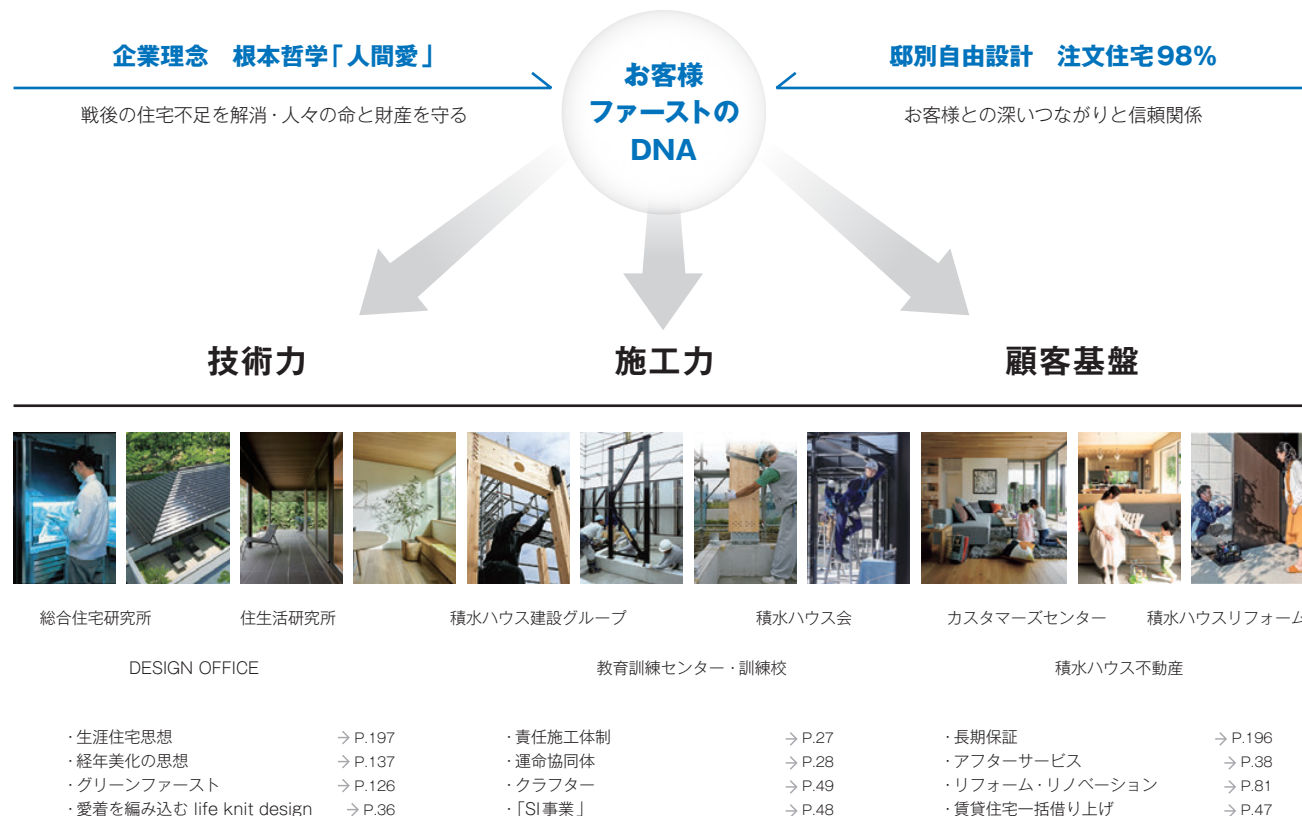


コアコンピタンス

60年以上の歩みの中で、積水ハウスグループが築きあげてきた強みは、常に革新的な開発と高度な設計提案を可能にする優れた技術力、法規制の遵守に加え、当社独自の厳格な基準を守り高品質な住まいを提供する施工力、そして、強固な顧客基盤。

これらのコアコンピタンスを築きあげてきた背景には、住宅不足を解消するとともに、人々の命と財産を守るため企業理念の根本哲学である「人間愛」を実践してきたこと。さらに、お客様の理想や要望に徹底して応え、深いつながりと信頼関係を構築することで、お客様ファーストのDNAが息づいていることにあります。

当社グループの成長を牽引するコアコンピタンスは、一朝一夕では模倣できない独自性を持ち、長年にわたる挑戦と革新的積み重ねにより形成されてきました。グローバルビジョンの実現を確かなものにするコアコンピタンスのさらなる深化と拡大により、唯一無二の価値を創造していきます。



コアコンピタンス 技術力

Our Story

限界を超え挑戦する 技術者たち

住まいのあり方は、時代とともに変化します。そのような機微を捉え、先進的な技術や研究開発、革新的な設計を提供することで、常に新たな時代を牽引しています。Grit(やり抜く力)とIntegrity(誠実さ)を兼ね備えた技術者が、住まいの可能性を切り拓き、唯一無二の価値を創造し続けています。

Our Value

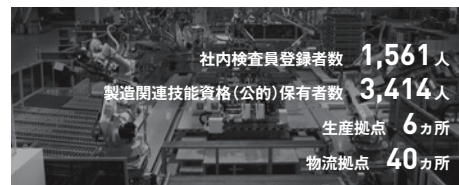
積水ハウステクノロジーを生み出す、R&D部門

安全・安心や、快適性・環境配慮、健康・つながり・学びという、住まいから創造する価値を追求し続ける住宅の基本性能の検証や評価、新しい構法や先進的技術の研究開発から、幸せを多角的に分析し、幸せな住まいのあり方やライフスタイル、暮らしのサービス提案に向けた調査研究まで、「住」を基軸としたハード・ソフト・サービスに関するさまざまな研究開発を行っています。



高品質な生産体制を支える、生産部門

コンピューター管理による邸別受注生産により、高性能・高品質な部材を製造。製造関連技能保有者や厳しい社内検定基準を熟知した社内検査の専門家による厳正な品質管理体制を徹底し、工場技術者の技能試験も実施しています。業界初の品質管理および品質保証に関する国際規格「ISO9001」を国内すべての自社工場を含む生産部門一括で取得し、一邸一邸変わらぬ高品質を届けています。



* 2024年4月時点

想いを叶える、設計集団

一邸ごとに、設計士、インテリアコーディネーター、エクステリアデザイナー、現場監督などが一つのチームをつくり、世界で一つだけの理想をカタチにしています。高度な認定基準を満たす従業員だけに付与される厳格な社内認定制度を導入。お客様の理想や法規制、多様な敷地の形状に対応できる設計提案力を持つプロフェッショナルが、理想をカタチにする住まいづくりを実現しています。



* すべて社内認定資格

Our Strength

声と想いを反映

研究・開発に反映するのは、お客様の声や想い。それらを実現するため、社内ではさまざまなワーキングを立ち上げ、商品開発や技術革新につなげています。

未来が始まる研究所

1990年、総合住宅研究所を開設。実証実験を重ね、最先端の技術を開発する研究者と、お客様や従業員がともに住まいの未来をつくっています。

幸せを多角的に分析

2018年、住生活研究所を開設。膨大なデータと蓄積された知見をもとに、幸せの要素を取り入れた住まいやライフスタイル提案に取り組んでいます。

感性を形にする

幸せを起点にした発想、暮らしの機微を捉える豊かな審美眼や探求心。それらが技術に結集し、感性を心の深いところで捉え形にしています。

コアコンピタンス
技術力

Our Story

限界を超え挑戦する
技術者たち

積水ハウスグループは、住宅の耐久性や精度の要である地盤と基礎に強いこだわりを持っています。熱い想いを持つ技術者の挑戦を受け入れ育む組織風土をベースとし、確かなスキルを持つ多くの人財の活躍によって、最高の品質と技術をお客様にお届けする集団に成長してきました。

Our Progress

納得するまで検証する、粘り強さ

技術者に共通しているのは「納得するまで自分たちで実験・実証を行い、確かめる」こと。耐久性能では、試験装置の結果に加え、実際のデータや調査結果をもとに、厳格な基準を設定。地震動エネルギー吸収システム「シーカス」*1や空気環境配慮仕様「エアキス」の開発では実物大の住宅を建てて行う検証を含め、10年以上の研究期間を費やしています。



挑戦を止めず、技術を進化し続ける

住宅の要となるのは地盤と基礎です。軟弱地盤が多い日本において事前調査がほぼ実施されていないという課題に対し、1976年に住宅メーカーとして初めて地盤状況の事前調査を確立しました。1972年には、基礎工法の研究を開始し、品質安定と耐久性向上を実現しています。

1979年からは地震対策技術の実証実験を開始し、2003年に免震住宅、2007年に「シーカス」*1を発表。1995年からは木造住宅でも耐震性や耐風性を追求し、2006年に土台を必要としない木造住宅を実現。高い基礎技術に空間創造力を加えた構法開発を続けています。



オリジナル耐震技術を、広く開放

これらの技術をもとに、2023年9月に共同建築事業「SI事業」を開始しました。既存住宅の約30%が新耐震基準を満たさないという課題に対し、当社オリジナル耐震技術「基礎ダイレクトジョイント構法」を在来工法用に開発。積水ハウス建設による高精度な施工により、木造住宅の耐震性向上を全国に広げていきます。

→ P.48「SI事業」



徹底的に、確かな性能を追求し続ける

一棟の住まいに必要な部材は数万点と言われています。求める性能をクリアするものが見つからなければ、独自の開発や共同研究を通じて理想のスペックを徹底的に追求。建物を形づくるすべての要素を高めることで、揺るぎない安心を提供し続けています。

磨き続ける、独自の工法

建築物をつくるうえで重要な地盤と基礎の耐久性や強度を確保するため、独自技術や工法を開発。施工現場では、さまざまな敷地条件に対応するために、基礎内に重機を乗り入れる工法や狭小な現場での施工を可能とする自走式タワークレーンなどを開発・導入しました。

こだわるのは、最高水準

広々とした居住空間を実現する鉄骨・木造住宅のオリジナル構法、高い強度と無柱大空間を実現する梁勝ちラーメン構造、美しい質感と機能性に優れた外壁材など、さまざまなオリジナル技術を生み出し、耐震性・耐火性・耐衝撃性・断熱性・遮音性・防犯性を実現しています。

業界初に、挑み続ける

創業時から業界初の試みを開始。「SI事業」開始にあたり、メーターモジュール(1,000mm)を尺モジュール用に新規開発。既存住宅では、2002年に導入した形状記憶耐力壁などによる耐震リフォーム技術の普及・進化を通じて、良質な住宅ストックの形成に貢献しています。

*1 国土交通大臣認定のオリジナル制震構法で、「シーカスダンパー」が地震動エネルギーを熱エネルギーに変換し揺れを吸収。建物の変形量を1/2以下(当社耐震構法と比較)に抑え、震度7クラスや繰り返し地震に効果を発揮。

コアコンピタンス 施工力

Our Story

施工のスペシャリストが つくる幸せ

世界でここにしかない価値。それは、積水ハウス建設や積水ハウス会との強い信頼関係の中に息づく「運命協団体」の精神。深化し続けるこの結束力と、世界最高水準の技と心を併せ持つプロフェッショナルが集結する施工力が、積水ハウスグループの強みです。

Our Value

責任施工体制

「建物は基礎が最も大切」という考えのもと、1973年に基礎・建方工事の専門会社「積和工事」を設立。基礎工事を自社施工する「責任施工」体制を確立し、高い施工品質を保証するとともに、基礎の一体打ち工法を開発し、基礎品質の向上と安定を目指しました。積和工事は、積水ハウス建設グループと名称変更し、責任施工体制を支え続けています。



積水ハウス会

高い品質を可能とするのは、住まいづくりに携わる一人ひとりの高い志と努力の成果。責任施工を基本とする当社にとって、協力工事店の存在はかけがえのないものです。お客様の幸せを願う仲間として、施工に関わるグループ会社や施工協力店によって構成される「積水ハウス会」を組織し、施工技術の向上や労働環境の整備など、意見を出し合い、協力しながら取り組んでいます。



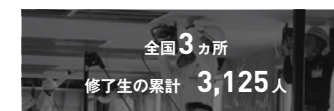
セキスイハウス協協会

施工現場で働く協力工事店の方々が日々安心して働ける環境を整備することは重要な責任と考え、1982年に、当社と積水ハウス建設グループ、協力工事店の福利厚生を主な目的とした任意団体「セキスイハウス協協会」を設立。積立年金や入院・所得補償制度などの福利厚生制度、雇用管理指導や助成、技能者報奨などを目的としたさまざまな制度を運用しています。



教育訓練センター・訓練校

施工品質の向上に向けたグループ力の強化や、技術の伝承、人材育成を目的に、1982年から職業訓練校を開校。積水ハウス建設各社が協力工事店に採用された技能者も対象とし、施工技術や専門知識、技能などを学んでいます。修了生は施工技能者や施工管理者として活躍しています。また当社独自の検定・認定制度を創設し、協力工事店の技能者育成にも取り組んでいます。



施工力の強化

1973

責任施工体制の確立

基礎工事専門会社「積和工事*」を設立し、基礎工事を自社で直接管理・施工品質を確立
* 現「積水ハウス建設グループ」

1982

技術者を育成する訓練校

認定職業能力開発校を開校
* 職業訓練校と同等資格付与

1983

施工技術を保証する社内検定

住宅施工の技術を保証する主任技能者検定*をセキスイハウス協協会にて開始

* 自主検定(1985年「社内検定認定規定」第1号として労働大臣より認定

2008

施工力を認定する社内認定制度

協会のリフォーム事業従事者を対象に積水ハウスリフォームマイスター制度を創設

2024

家づくり職人の雇用と育成

積水ハウス建設の住宅技能工「クラフター」の新人事制度を導入し育成を強化

→ P.49 クラフターの雇用と育成



コアコンピタンス
施工力

Our Story

施工のスペシャリストが つくる幸せ

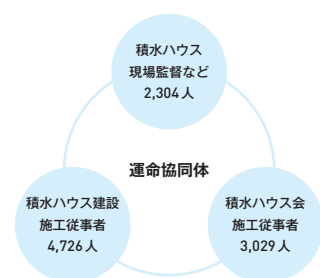
積水ハウスグループの施工技術者は、家づくりの芸術家。美しさと機能性、耐久性を兼ね備えた芸術品をつくるため、高度なスキルと専門知識を発揮し、最高の品質と技術を追求することに情熱を注いでいます。この情熱と志を持つ仲間とともに、技を磨き続ける真摯な姿勢が、唯一無二の価値を創造する積水ハウスグループの原動力です。

Our Progress

積水ハウス建設グループと施工協力会社による「責任施工」体制のもと、構造躯体から内装工事に至るまで、高精度・高品質な施工を安定して提供しています。積水ハウスグループは協力工事店と対等な関係を築き、施工時の安全対策の徹底やゼロエミッションを達成する現場管理、施工品質の改善にも「運命協団体」として取り組んでいます。施工に関わるすべての人財は、当社グループの住まいづくりにおいて欠かせない存在であり、卓越した技術と専門知識を備え、基礎から建物までの主要構造物を丁寧に手がけています。また、誠実さと責任感を併せ持ち、お客様との信頼関係を築くことにも努めています。当社グループのコアコンピタンスである施工力は、その技術と人間性の両面に支えられています。

運命協団体

住まいは大勢の人の力がなければ完成しないという考えのもと、協力工事店とともに、運命協団体としての信頼関係を構築し、想いを一つに最高の品質と技術を提供しています。



期待を超えるスキルと誇り

厳格な基準に基づく施工を行い、期待を上回る品質とサービスを提供することに誇りを持っています。建築物の堅牢さと安定性を確保するため、絶え間ない訓練と学びを通じて技を磨き、継続的なスキルアップと努力により、さらなる品質の向上と信頼の獲得につながっています。



世界最高レベルの技と心

常に最高水準の施工品質とお客様満足度の向上を追求。専門知識と技能を集結し、細部に至るまで丁寧な施工を心掛け、規律を守り、謙虚に仕事に取り組みます。熟練された技術と細やかな気遣いと融合により、安全で耐久性の高い住まいを実現し、お客様に幸せを届けています。



積水ハウス大工選手権大会 WAZA 2023

2023年、住まいづくりに携わる積水ハウスの職人の方々に敬意を表すとともに最高峰の技術を披露していただくことを目的に、積水ハウス大工選手権大会 WAZAを開催。全国約5,000人から各エリアの推薦により選ばれた26人が、約2時間にわたり住まいづくりの内装工事における工程に取り組み、頂点を競いました。



コアコンピタンス 顧客基盤

Our Story

お客様と ともにつくる未来

住まいは幸せを育む大切な場所。どんなに最新の技術を導入しても、デザイン性に優れていても、お客様の理想や想いからかけ離れては意味がありません。一人ひとりの想いを実現する「邸別自由設計」を基本とする私たちが大切にしているのは、お客様と想いを共有し、心の結びつきを深めていくこと。生涯にわたり寄り添い続けること。そして、お客様にとって価値があり、必要とされているものが何かを常に問い、いつまでも幸せが続く未来をつくること。対話を重ね、心を通わせながら築いていくお客様との長く深いつながりは、私たちに息づいているお客様ファーストのDNAをさらに深化させています。

Our Value

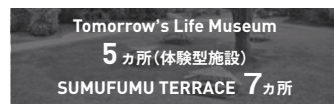
お客様とのつながり

お客様とのつながりは、積水ハウスグループの活動の中心です。お客様の幸せを願い、住まいづくりにおいて、お客様の想いや理想を共有し、それを的確に捉え、設計や商品、サービスなどへ反映しています。



お客様の信頼

住まいはお客様の夢や希望が詰まった大切な空間であり、お客様の理想や変化に合わせて進化し続けなくてはならないもの。暮らしの中の気づきや発想を最高の品質と技術として提供することで、お客様との信頼関係を築いています。



お客様との結びつき

お客様にとっては、入居してからが本当の始まり。お客様の未来にまで責任を持ち続けることが大切だと考え、日々の暮らしに寄り添い、見守り続ける幸せづくりのパートナーとして、お客様との結びつきを深めています。



お客様とのパートナーシップ

お客様とともに、理解を深めながら美しいまちなみや豊かな環境づくりに取り組んでいます。お客様との強い絆と心のつながりを通じて、いつの時代も、誰もが幸せに暮らし続けられる住まいと環境を追求しています。



Our Strength

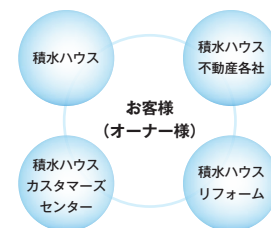
積水ハウスグループが歩んできた道のりにはお客様の幸せを願う心が常にあり、お客様の声に耳を傾け心を通わせることで、強固な信頼関係を構築してきました。当社グループは、お客様とともに歩み続ける体制をグループ全体で構築しており、お客様との強い絆は、当社グループの技術革新や事業変革の礎であり、お客様とともに歩み続ける体制をグループ全体で構築しています。幸せという新たな価値を創造する私たちの原動力です。

積水ハウスグループがすべて、責任を負う

1961	自社工場での部材生産開始	住まいはお客様の大切な資産。建物がある限りいつまでも保証を延長できる再保証制度「ユートラスシステム」を提供しています。また、長く住み継がれていく住まいを、いつまでも守り続けるため、アフターサービス体制を整備しています。
1964	代理店販売から直接販売へ転換	
1964	責任施工体制確立	
1976	賃貸住宅管理開始	
1982	長期保証制度開始	
1999	永年保証を可能とする制度開始	
2007	オーナー住宅買取再生事業開始	

いつまでも寄り添い、見守りつづける

1985	オーナー様訪問開始	「カスタマーズセンター」という名称には、お客様を大切に守っていくという想いが込められています。一邸ごとの住まいのデータを管理する「いえろく」を導入し、迅速かつ的確に点検や補修を行う管理体制を構築しています。
1987	カスタマーズセンター設立	
1999	リフォームセンター設置	
2004	カスタマーズセンター 休日受付センター開設	
2020	カスタマーズセンター オーナーデスク開設	



大切にしている価値観

積水ハウスグループの従業員に共通していること。それは、幸せに向き合う情熱。この情熱を持ち、積水ハウスグループという資源を活用しながら、幸せを追求し続ける従業員が、積水ハウスグループの強さだと確信しています。

そんな積水ハウスグループで働く私たちが大切にしているのは、イノベーション&コミュニケーション、自律、そして、感性。

組織文化として長年にわたり受け継がれ、醸成されてきたこれらの価値観は、積水ハウスグループらしさの根源であり、私たちのアイデンティティを形成しています。多様な視点や経験を持つ従業員が、これらの価値観を共有し、ベクトルを合わせ、新たな価値を創造し続けています。

イノベーション&コミュニケーション

自律

感性



わたしが思う幸せは
人と感動を共有すること



わたしが思う幸せは
感謝し、感謝されること



わたしが思う幸せは
周りの人と一緒に笑顔になること



わたしが思う幸せは
笑顔の共有



わたしが思う幸せは
毎日を楽しめること



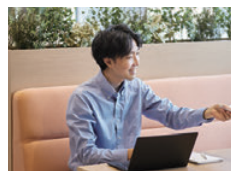
わたしが思う幸せは
思いを共有すること



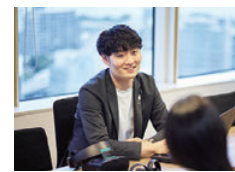
わたしが思う幸せは
自分と周囲の人の笑顔



わたしが思う幸せは
思いやりの精神



わたしが思う幸せは
信頼されること



わたしが思う幸せは
Give and Give



わたしが思う幸せは
わくわくできる毎日であること



わたしが思う幸せは
周りの支えとなること

幸せづくりに向き合う積水ハウスグループの従業員。幸せのあり方に同じものは一つありません。一人ひとりが自分なりの幸せを考え、さまざまな場で自分らしい幸せを追求しています。

大切にしている価値観

イノベーション&コミュニケーション

Our Story

共創が生み出す
新しい価値

私たちが考えるイノベーションとは、これまでのやり方や慣行を変え、お客様や社会に対して価値を創造すること。誰もがイノベーションの主体となることのできるのです。

Our Value

社内改革のキーワード

マネジメントスタイルの変革

イノベーションは価値の創造

合言葉は「SHIPに出そうよ！」

新たな価値を創造し続けるためには、従業員が自由にアイデアを出し合い、仲間とのコミュニケーションを通じてそのアイデアを育むことが重要となります。そこで、2018年に、「イノベーション&コミュニケーション」を社内改革のキーワードとしました。

アイデアのヒントを持っているのは、お客様に近い場所で働く従業員です。そのため、従来の指示型からコミュニケーション型へのマネジメント層改革を推進。社内のあらゆるレベルで、アイデアとそれを育む姿勢を醸成し、従業員が自信を持って自由にアイデアを共有できる環境を整備しています。

私たちが考えるイノベーションとは、既存のやり方を変え、小さなことでもお客様や社会に価値を創造すること。すべての職種がイノベーションの主体となり得ると考えています。経営層が積極的にこのメッセージを発信し、従業員が自分なりに考え、行動に移すことを大切にしています。

現在、従業員の間で浸透している合言葉は「SHIPに出そうよ!」。SHIP*とは、2021年に開始した創発型表彰制度。従業員は、社内アプリへアイデアや取り組み事例を投稿し、チームを結成してアイデアを磨くこともできます。6カ月の審査を経て表彰されたアイデアは、事業化や制度化される可能性も秘めています。

一人ひとりの自由な発想から生み出されるアイデアを仲間や上司が受け止め、「SHIPに出そうよ!」という言葉で、お互いを認め合い、イノベーション&コミュニケーションを実践しています。

→ P.104 創発型表彰制度「SHIP」の推進

* Sekisui House Innovation & Performance Awards

Our Strength

常識を疑うことへのこだわり

新しいアイデアを追求することは、創業時からの精神。当時の日本の住宅の常識に疑問を持ち、誰もが思いつかなかった材料や方法を用いて、住まいのあり方を変革した使命感は、新たな価値創造に挑戦する私たちの姿勢に反映されています。

感度高き変革者

常に変革の先頭に立ち、住宅業界を牽引してきた当社グループの成長の要因の一つはコミュニケーション。1961年に開発された「セキスイハウスB型」は、お客様から直接フィードバックを受けることで、当社の住まいづくりの根底となる技術や思想が生まれました。

私のアイデア

協力工事店や現場の職人を対象に、施工現場での品質向上や施工方法の改善などにつながる提案を紹介する「私のアイデア」を1988年より実施。これまでに57,929件の提案があり、この中から専用工具類や新しい機材、工法が開発されています。

SHIPへのアイデア・取り組み応募件数
4,052件(2021年度~2023年度)



大切にしている価値観
イノベーション&コミュニケーション

Our Story

共創が生み出す
新しい価値



イノベーション&コミュニケーションから生まれる新しい社会貢献のカタチ

Topics

子どもたちが幸せに暮らし続けられる社会・環境づくりを目的に、従業員の寄附額と同額を会社が拠出し、非営利団体へ寄付をする従業員と会社の共同寄附制度「積水ハウス マatchingプログラム」を2006年度から実施しています。2023年度より、従業員発案のアイデアを非営利団体とプロジェクト化し助成をする新しいカタチの社会貢献制度を開始しました。



→ P.184 積水ハウス マatchingプログラム

もっとできることがあるはず。

積水ハウスグループは、46都道府県に事業所を設置し、全国29カ所のカスタマーズセンターを展開。地域とのつながりを深め、お客様や社会の幸せを考え続けてきたからこそ、寄付以外にもできることがあるのではないかとという声から従業員から寄せられるようになりました。

社会を良くするアイデア

2023年、社会課題の解決につながる従業員発案のアイデアがSHIPに多数投稿されていたことに気づきました。これらを活用することで社会に貢献できるのではないかと考え、非営利団体とともに子どもたちの体験機会や地域活性化につながるプロジェクト企画を進めました。

アイデアから始まる新たな価値

非営利団体の多くは、活動企画・資金・人財の確保に課題を抱えています。従業員発案のアイデア・従業員と会社の寄附・従業員の活動への参加という3つの側面から非営利団体と共創する新しい社会貢献のしくみを構築。社会との共創を通じた新たな価値創造を目指しています。

寄付総額 約**4.9億円・646**団体
制度加入従業員 **7,944**人
(2024年1月末時点)

社会貢献につながる
従業員発案アイデア
235件・1,178人
(2021年度～2022年度)

→ P.104 創発型表彰制度「SHIP」の推進

2024年度助成実績

助成プロジェクト **56件・5,302**万円
融合した従業員発案アイデア **117**件

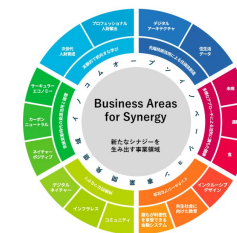
積水ハウス イノコム

Topics

2024年2月、積水ハウス イノベーション&コミュニケーション株式会社(「積水ハウス イノコム」)を設立しました。イノベーション人材やグローバル人材の育成に加え、社外パートナーとのオープンイノベーションを通じて、社会に新たな価値を創造し、人々の生活をより豊かに、より幸せにすることを目指しています。

2024年9月に「赤坂グリーンクロス」内に、オープンイノベーション施設「InnoCom Square(イノコム・スクエア)」を開設し、産官学が集う価値創造の場を実現します。この施設は、企業、地方自治体、教育機関などの外部パートナーと「暮らし」にまつわる社会課題の解決に積極的に取り組む場として活用されます。

積水ハウス イノコム



積水ハウス イノコムのオープンイノベーション事業開発領域

大切にしている価値観

自律

Our Story

自律した
従業員主導の革新

私たちが考える自律とは、自分の人生をいかに幸せに生きるかということを考え、自分で決めること。誰かの期待に応えるのではなく、自らの人生のオーナーシップを持つことだと考えています。

自律した従業員が、価値を大きくする

積水ハウスグループの成長を支えているのは、自律した従業員。自らの価値観や考えに基づいて自律的に行動する従業員が、会社の目指す方向と合致することで、人財価値が最大化されるという「従業員の自律×ベクトルの一致」という考え方を取り入れています。

自律とは、自分のことを自分で決めること

私たちが考える自律とは、自分のことを自分で決めること。周りや社会の期待にとらわれるのではなく、自分の信念や情熱に従い、価値観や夢を追求すること。それは、自分にとっての幸せを見つけることを楽しみながら、人生を過ごすことだと考えています。

会社は、育成ではなく支援する

自分の人生や行動に関する決定を自ら主導する姿勢が、新たな価値を創造していく当社グループの持続的な成功と成長に不可欠な要素です。そのため、従業員が自らの考えで決断し、目標を達成するプロセスを支援することを重視しています。

Our Value

自分自身と向き合う従業員

自律は、他人との比較ではなく、自分自身と向き合い、受け入れることから始まります。自分の決断に主体的に取り組み多くの従業員がいる一方で、自律を希望する従業員に対しては、当社グループとして積極的に支援することをコミットしています。

会社は従業員のパートナー

会社は、従業員が自らの成長を望む際に、そばで支え、励まし、リソースや機会を提供するパートナー。そのため、当社グループでは、スキルや能力の向上だけでなく、自己実現を達成するための支援を提供することに注力しています。

自分自身と向き合うキャリア自律研修

2003年、業務の話は一切せず、これまでの人生や友人とのつながりなどをふりかえり、自分のキャリアやありたい姿を考える「キャリア自律研修」を開始しました。

自律という考えがほぼ存在しなかった時代。そのような研修をすると会社を辞める従業員が出るのではとの意見もありましたが、時代の変化を見据え研修を開始。会社のためではなく、自律的に考えるためのきっかけとして始めたこの研修は現在も継続され、これまでに18,962人が受講しています。

研修を受講した従業員の多くは、人生の中で大きなターニングポイントになったと感じており、自分なりの幸せや自分らしい働き方を追求し続けています。

メンバーが主役のキャリア面談

当社グループでは、従業員が自らの意思で考え、行動に移すことを重視し、そのための制度や環境整備に取り組んでいます。

2021年より、メンバーが主役となるキャリア面談を開始しました。メンバー自身が描くキャリアビジョンや目標、現状の課題、会社や上長にサポートしてほしいことなどを伝え、目指すキャリアやそのための行動について考える機会としています。上長との対話から生まれる「気づき」を通じて、一人ひとりが自律的に行動に移せる組織風土の醸成に努めています。

大切にしている価値観
自律

一人ひとりの、 自律の仕方

積水ハウスグループでは、従業員の自律的なキャリア形成を基本的な考え方としています。これは、当社グループのあらゆる資源を最大限に活用し、自分にとっての道を自分で選択することを意味します。例えば、「上司から、こういうスキルを学ぶ」「この1年は、親の介護に専念する」「この1カ月は、子どもと過ごす」「今週は、趣味のために時間を使う」

これらもすべて、立派な自律だと考えています。そのため、当社グループでは、一人ひとりの自律を実現し、それぞれの得意を伸ばすための環境づくりに取り組んでいます。

→ P.94 人的資本

プライベートの時間も、大切にしたい

<p>年休取得</p> <p>多様なライフスタイルに対応するため、半日や時間単位などでの年休取得が可能</p>	<p>労働時間</p> <p>労働時間の削減へ向け、多くの取り組みを実施</p> <p>2023年度実績 169.58時間 1人/月平均労働時間</p>	<p>スライド勤務</p> <p>所属部署の勤務形態や自身の暮らしに合わせ、勤務時間の調整が可能</p>	<p>在宅勤務</p> <p>育児・介護・妊娠・傷病以外でも、理由を問わず在宅勤務が可能</p>	<p>介護制度</p> <p>分割取得も可能な介護休業、勤務時間短縮・就業時間変更が可能</p>	<p>子どもサポート休業</p> <p>子どもの病気や不登校といった事情に寄り添うための休業制度</p>	<p>男性育休</p> <p>男性従業員による1カ月以上の育児休業完全取得を推進</p> <p>2023年実績 取得率 100% 平均取得日数 31日</p>	<p>産休育休制度</p> <p>休業制度のほか、保育費用の補助や保活のサポート</p>
--	---	---	---	---	---	--	---

やりたいことを、実現したい

<p>女性活躍</p> <p>営業、設計、現場監督など各職種で多くの女性が活躍し、研修も毎年開催。</p>	<p>SHIP</p> <p>従業員誰もが、新しいアイデアやこれまでの取り組みを自ら応募できる表彰制度で、受賞アイデアが実現された事例もある。</p>
--	--

いくつになっても学び、成長したい

<p>人財公募</p> <p>特定の事業・プロジェクト等で求める人財を社内で募り、従業員が自由に応募できる制度</p>	<p>資格祝金制度／資格取得支援制度</p> <p>170種以上の資格を対象に、取得祝金を取得支援を実施</p>
--	---

<p>キャリア自律コース</p> <p>自分らしい働き方や自分らしさを理解し、実践することを支援</p>	<p>キャリア面談</p> <p>面談を通じて目標や目指す姿を明確にし、自律的に働くことをサポート</p>	<p>ジョブローテーション（技術系）</p> <p>期間を定めてさまざまな業務を経験する制度</p>	<p>資格祝金制度／資格取得支援制度</p> <p>170種以上の資格を対象に、取得祝金を取得支援を実施</p>	<p>階層別・職種別研修制度</p> <p>さまざまな研修プログラムを用意し、体系的に実施</p>	<p>リーダー育成</p> <p>次世代リーダーを育む土壌づくり、継続的支援を実施</p>	<p>キャリア自律休業／高度学習支援</p> <p>学びなおし休業や大学院通学への高度学習支援</p>
---	--	---	---	--	--	--

安心して、働きたい

<p>ヒューマンリレーション研修</p> <p>人権侵害をしない・させない・ゆるさないを目的にグループ全従業員への研修を実施</p>	<p>LGBTQの理解促進</p> <p>従業員研修や、人事・福利厚生制度の適用を可能に</p>	<p>幸せ度調査</p> <p>個人と職場の幸せを見える化し、働きがいを感じ幸せに働ける環境を整備</p>
---	---	--

大切にしている価値観

感性

Our Story

感性が紡ぐ 技術と情熱

住まいもまちも社会資本。そして、人々の幸せを支える舞台。その価値を高めるため美しさを追求してきた私たちが大切にしているのは、一人ひとりの感性。単なる建物ではなく、そこに住む人のライフスタイルや個性を大切に、一人ひとりが幸せを感じ続けられる住まいづくりを追求しています。

Our Strength

感性とは、物事を心の深いところで感じる事。その人なりの感覚で世界を捉え、自分らしい感情を持つことは、人生を彩っていく。だからこそ、感性を重視した住まいづくりに取り組んでいます。

感性を育むことは、幸せにつながる。幸せは、快適さや美しさだけでなく、心地よさや満足を感じるによって実現するからこそ、心に響くデザインや空間づくりを大切にしています。

住まいやまちなみは、一人ひとりの感性から生まれるもの。人は誰でも感性を秘めており、心が動く瞬間を重ねることによって育まれていくはず。日々の暮らしから気づきを得ることを心がけています。

Our Value

一つひとつ異なる住まい

邸別自由設計を基本とする積水ハウスグループは、建物の枠組みを超えて、独創的なデザインと繊細な美しさを実現。一つひとつの住まいに、住まう人の世界観や感性を表現することで、本当の幸せを追求しています。

理想を心で感じる

唯一無二の住まいを実現するのは、当社グループの建築士。優れた技術とともに、コミュニケーションを通じて理想や希望を心で感じ、独自の感性や創造性を住まいづくりに活かしています。

オンリーワンを追求

一級建築士の中でも、特にデザイン力を発揮し、感性を形にするのは当社独自の厳格な認定制度のもと選ばれたチーフアーキテクト。自らのセンスと技量を集結し、世界で一つだけの住まいを追求しています。

注文住宅 **8,967戸***

* 2023年度 国内戸建住宅の98%

一級建築士 **3,172人**

チーフアーキテクト **319人**

1987年より、設計提案力の向上を目指し、社内研修「設計道場」を開始*1。建築家の作品見学、施主との対話、設計コンペの実施など、スキルを磨く場となっています。

*1 「CA道場」へも発展



チーフアーキテクトの武器となるのは、高い耐震性と設計の自由度を両立した当社オリジナルの構造です。鉄骨造・木造ともに、累積建築戸数266万戸を超える実績に裏付けられた高い安全性・快適性を持ち、どの一邸にも高い施工精度により実現されたこれらの性能がベースにあるため、技術の革新とデザインの美しさを融合させ、設計者としての力を解き放つことができています。

大切にしている価値観
感性

Our Story

感性が紡ぐ 技術と情熱

朝の光が優しく差し込むリビングのぬくもり。ウッドデッキで感じる心地いい風の薫り。これらはすべて、日々の暮らしの中で感じる小さな心の動き。そんな小さな幸せの積み重ねがいつまでも続くよう、一人ひとりの感性に寄り添うことにこだわり続けています。

Our Progress

1960年代～ 機能性と美しさを融合した住まい

住まいはお客様の夢や希望が詰まった大切な空間。素材の選定や施工技術にもこだわり、機能性と美しさを融合した住まいづくりに取り組んでいます。



1961年に「セキスイハウスB型」の内装をプラスチックから木材に変更することで、感性を大切に設計を実現。1984年には、耐久性・耐火性・断熱性・遮音性に優れた外壁材を採用。一枚一枚専用の型枠で打設され、深い彫りや繊細な表情を持つ質感と洗練された優雅さを醸し出す外壁材は、都市住宅に新たなスタイルを生み出しました。

Our Strength

お客様の未来にまで寄り添い続け、いつまでも続く幸せを実現するため、お客様と対話を重ね、理想や想いを共有することを大切にしています。

1963
総合住宅
展示場初出席

1989
住まいの参観日
初開催

1990
総合住宅研究所
納得工房設立

1992
住まい塾開講

1997
住まいの夢工場設立

2006
まちなみ参観日初開催

2013
住ムフムラボ開設

2021
TLM(Tomorrow's Life Museum)・
SUMUFUMU TERRACE開設

良質な住宅を社会資本として受け継いでいく

スクラップ&ビルドを繰り返すことなく建物の価値を守り続けるため、住まい手が変わった後も新しいオーナー様との関係を築き、カスタマーズセンターとグループ会社が連携して既存住宅の流通促進に努めています。

1970年代～ 歳月を重ねるごとに美しくなるまち

ひとつの風景として美しく感じるまちなみは、複数の住まいと豊かな自然がつくりあげ、社会資本として受け継がれていくものです。



1970年代後半から、住まいをまち全体のデザインと調和させ、美しい景観や四季の移ろいをまちの人々と共有する「コモン(Common)」の思想や、歳月を重ねるごとに美しくなる「経年美化」の思想に基づくまちづくりを開始。時代に左右されない美しさをもつ住まいがまち全体の美しさと調和し、長く愛されるまちづくりを実現しています。

2023年～ 時間とともに愛着を編み込む住まい

美しいと感じる空間、心惹かれる形や手触り、心地いい時間の過ごし方は一人ひとり異なります。感性を住まいに映し出す新デザイン提案システム「life knit design」を2023年に導入しました。



開発にあたり約6,600点の画像を分析。インテリア提案は、空間における色や素材、形などから受ける印象を言語化し導き出した6つの感性フィールドへ変革。シンプルで美しい空間と家具や小物を掛け合わせることで、一人ひとりの感性に寄り添うインテリア提案を実現。愛着を編み込むように暮らし続けられる住まいづくりに取り組んでいます。

理想の暮らしやアイデアに出会える場

2013年、業界初のオープンイノベーション拠点「住ムフムラボ」を開設。現在では、全国7カ所に「SUMUFUMU TERRACE」を開設し理想の暮らしやアイデアに出会える場としてお使いいただいています。



バリューチェーン

積水ハウスグループは、住まう人にとって重要な基本性能や環境技術を絶えず進化させながら、暮らし方の研究や提案を組み合わせることで、幸せな住まいの実現を目指しています。研究開発から商品開発・設計・技術、営業、調達、生産、施工、アフターサービスまで、住まいづくりに関わるすべてのプロセスを当社グループが担う独自のバリューチェーンと経営資本の高度化を図り、価値創造を推進しています。

バリューチェーンの持続可能性を高めるため、中長期経営方針に基づく重要なリスクと機会に対し、第6次中期経営計画(2023年度～2025年度)における強化施策を策定しました。

事業活動を支え、価値創造の原動力となる経営資本においても、人財・組織風土、生産・物流拠点、研究開発・技術、エネルギー・原料、施工力・顧客基盤、財務基盤の観点で整理し、当社グループを取り巻く環境を踏まえ、創出価値を高めるための資源投下の方向性と重要テーマにおける関連指標を示しています。

→ P.39 経営資本



バリューチェーン

	強み	リスクと機会	第6次中期経営計画における強化施策	創造する価値
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> 世界最大規模の「総合住宅研究所」(1990年開設) 日本初「幸せ」を研究する「住生活研究所」(2018年開設) 住まいに関するデータやノウハウを活用した研究開発 	<ul style="list-style-type: none"> 技術革新や社会的課題への対応不足や遅れによるビジネス機会損失 気候変動による自然災害の激甚化 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の災害リスク・持続可能な社会・長寿命化に対する研究開発 健康につながる住まいの環境技術の研究開発 営業・技術・生産部門などの共創に基づく研究開発 社外(企業、アカデミアなど)連携による研究開発 研究開発人財の強化・育成 	<p>これまで培ってきた安全・安心・快適性・環境配慮技術の深化を図り、これらを礎に人生100年時代の幸せづくりへ向け、ハード・ソフト・サービスを融合した研究開発を実施します。</p>
商品開発・設計・技術	<ul style="list-style-type: none"> 時代・他社に先駆けて開発するオリジナル技術 3,172人の一級建築士(2023年度) トップクリエイター集団「チーフアーキテクト」による優れた社内建築家育成の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ライフスタイルの変化 価値観の多様化 求められる住宅性能の多様化(環境対応・自然災害対応・感染症対応など) 	<ul style="list-style-type: none"> お客様の幸せのためのデザイン研究開発 持続可能な社会実現のための環境技術開発 良質なストック形成のためのオリジナル技術開発 	<p>最高の品質と技術を追求し、住まう人に求められる商品を常に他社に先駆けて開発し、高度な設計提案力により一人ひとりの想いのつまった「邸別自由設計」を実現します。</p>
営業	<ul style="list-style-type: none"> 積みあげてきた信頼と実績・お客様に寄り添う姿勢 潜在的なニーズを汲み取り、幸せに暮らし続けられる住まいを提案するコンサルティング力 法人・公共団体向け事業にも対応できる提案力 	<ul style="list-style-type: none"> 競争環境の激化 住宅政策の転換 住宅取得支援策の変更・打ち切り 	<ul style="list-style-type: none"> 長期優良住宅の推進 お客様・地域社会へ価値ある資産づくりのご提案 グループ間の連携強化による事業機会の確実な獲得 女性営業職の活躍推進 	<p>お客様接点の最前線である営業は、お客様にしっかりと寄り添い理想の住まいに向けた価値提案を行い、未来まで続く、お客様との固い信頼関係を構築します。</p>
調達	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーとの共存・共栄のもとに構築してきた強固なサプライチェーン 国連グローバル・コンパクト*への署名を踏まえたCSR調達 * → P.242 国際的なイニシアチブへの参画や行政・業界団体等との活動 「木材調達ガイドライン」に基づくフェアウッド調達 	<ul style="list-style-type: none"> 原材料の価格高騰や供給制約 自然災害や地政学リスクによる影響 サプライチェーンにおける人権リスク 木材調達における生態系や森林への影響 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン(2次・3次含む)全体の強靱化 サプライヤーとの共存・共栄を目指すCSR調達の強化 サプライチェーンの脱炭素化と人権尊重の推進 フェアウッド調達の深化 ゼロ・デフォレステーションの推進 	<p>1棟の住宅を建てるには数万点の部材が必要であり、「CSR調達ガイドライン」に基づいて、多様なサプライヤーと協働し、持続可能な調達を実現します。</p>
生産	<ul style="list-style-type: none"> AI、IoT、ビッグデータ解析などの最先端情報技術とロボット技術の活用による強固な生産・品質管理体制 邸別生産を可能にする柔軟な生産ラインと物流体制 新たな技術を取り入れた生産技術の自社開発 	<ul style="list-style-type: none"> 原材料の価格高騰や供給制約 物流コストの上昇・ドライバー不足 生産ライン現場作業従事者の労働力不足 脱炭素化に向けた技術開発 生産システムへのサイバー攻撃 	<ul style="list-style-type: none"> 先進的技術のさらなる活用による品質管理強化と生産・物流改革 自動化推進による生産合理化と働きやすい職場環境づくり 原材料リサイクル、省エネルギー、エネルギー転換などによる脱炭素化推進・情報セキュリティ対策強化 	<p>生産から出荷までの工程においても邸別に管理する独自の生産体制を実現し、工業化による高度な品質管理体制のもと、一邸一邸、変わらぬ高品質を提供します。</p>
施工	<ul style="list-style-type: none"> 「運命協同体」の精神で結ぶ積水ハウス建設グループと施工協力会社約7,000社の施工力 施工品質管理、継続的な改善、記録の管理・保存を目的とした「全社施工品質管理システム」 全国3カ所の教育訓練センターとベトナムの技能訓練施設を通じた将来を担う優秀な人財の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 施工技術者の高齢化等による施工力低下 施工技能者の入職減や離職増等による人財不足 地球温暖化等に起因する自然環境の悪化による施工現場での生産性低下 労働災害・公衆災害 	<ul style="list-style-type: none"> より安全で幸せな施工現場実現に向けた作業効率や施工環境改善 多角的な視野を備えた人財採用と育成 在来建築や土木事業に強みを持つ鴻池組との連携強化 	<p>積水ハウス建設各社と施工協力会社からなる「積水ハウス会」による「責任施工体制」を構築し、高い施工品質を提供する施工環境の整備や施工技術の開発を実現します。</p>
アフターサービス	<ul style="list-style-type: none"> お客様に感動をもたらすカスタマーサービス精神 約1,500人の専任者による充実のアフターサービス体制 新築時からのメンテナンス情報を一元管理する情報システム 	<ul style="list-style-type: none"> 対応の遅れなどによる顧客満足度の低下 お客様情報などの情報漏洩リスク 	<ul style="list-style-type: none"> オーナー様との良好な信頼関係の構築 24時間365日の電話受付やAIチャットボットなどを活用した対応力強化 情報管理体制・対応強化 	<p>いつまでも快適に暮らしていただくための適切なアフターサービスも住宅本来の価値と位置づけ、「初期30年保証制度」や「ユートラスシステム」など、長期にわたるサポート体制でいつまでも続く安心を提供します。</p>

経営資本

資本	目指す姿	重要テーマと関連指標						
人的資本 人財・組織風土	<p>「従業員の自律」×「ベクトルの一致」を通じた人財価値の向上を目指し、多様な人財の積極的採用や社内認定制度によるスキルアップを支援し、適正配置に努めています。さらに、全従業員がイノベーション&コミュニケーションを実践できる職場風土の醸成に取り組んでいます。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>従業員の自律</th> <th>DE&Iの推進</th> <th>ベクトルの一致</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 18,962人 キャリア自律研修受講者数 15.26億円 総研修費用 </td> <td> 29.4% 女性従業員比率 ◇2* 4.34% 女性管理職比率 ◇3* 3.00% 障がい者雇用率 ◇1* </td> <td> 219.9% 後継者準備率 </td> </tr> </tbody> </table>	従業員の自律	DE&Iの推進	ベクトルの一致	18,962人 キャリア自律研修受講者数 15.26億円 総研修費用	29.4% 女性従業員比率 ◇2* 4.34% 女性管理職比率 ◇3* 3.00% 障がい者雇用率 ◇1*	219.9% 後継者準備率
従業員の自律	DE&Iの推進	ベクトルの一致						
18,962人 キャリア自律研修受講者数 15.26億円 総研修費用	29.4% 女性従業員比率 ◇2* 4.34% 女性管理職比率 ◇3* 3.00% 障がい者雇用率 ◇1*	219.9% 後継者準備率						
製造資本 生産・物流拠点	<p>国内事業は、製造ラインを持つ工場(生産拠点)と全国の施工現場に部材を配送する物流拠点を有し邸別生産を支えています。工場間の部材輸送は鉄道モーダルシフトを採用し、環境負荷を低減。生産効率向上への部材生産設備や開発型ビジネスにおける設備投資も実施しています。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備投資</th> <th>資源循環センター</th> <th>生産・物流拠点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 867億円 設備投資額 </td> <td> 23カ所 国内 </td> <td> 6カ所 生産拠点 (国内5・海外1) 40カ所 物流拠点 </td> </tr> </tbody> </table>	設備投資	資源循環センター	生産・物流拠点	867億円 設備投資額	23カ所 国内	6カ所 生産拠点 (国内5・海外1) 40カ所 物流拠点
設備投資	資源循環センター	生産・物流拠点						
867億円 設備投資額	23カ所 国内	6カ所 生産拠点 (国内5・海外1) 40カ所 物流拠点						
知的資本 研究開発・技術	<p>戸建住宅や賃貸住宅、一般建築物などにおける品質向上や新技術の開発、快適性能や環境分野など多岐にわたる領域で最先端の研究開発を推進しています。また、イノベーションの風土も醸成し、持続的成長へ向けた技術開発と革新に積極的に取り組んでいます。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究開発体制</th> <th>技術革新</th> <th>研究所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 90億円 研究開発費 </td> <td> 916件 特許権保有件数 374件 意匠権保有件数 </td> <td> 総合住宅研究所 住生活研究所 技術研究所(鴻池組所有) </td> </tr> </tbody> </table>	研究開発体制	技術革新	研究所	90億円 研究開発費	916件 特許権保有件数 374件 意匠権保有件数	総合住宅研究所 住生活研究所 技術研究所(鴻池組所有)
研究開発体制	技術革新	研究所						
90億円 研究開発費	916件 特許権保有件数 374件 意匠権保有件数	総合住宅研究所 住生活研究所 技術研究所(鴻池組所有)						
自然資本 エネルギー・原料	<p>持続可能性を考慮したCSR調達に取り組み、フェアウッド調達や森林認証の取得に加え、調達におけるデュー・ディリジェンスや国産材の地産地消への貢献など、サプライヤーとの共存共栄を図りながら持続可能性を追求し、エネルギーや環境負荷低減にも努めています。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>生物多様性保全</th> <th>脱炭素化</th> <th>資源循環</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 97.2% 持続可能な木材調達比率 1,984万本植栽 「5本の樹」計画 </td> <td> 86.2% RE100進捗率 (積水ハウスオーナーでんき) 39.5% サプライヤー SBT目標設定率 </td> <td> 114.4万トン 廃棄物排出量 </td> </tr> </tbody> </table>	生物多様性保全	脱炭素化	資源循環	97.2% 持続可能な木材調達比率 1,984万本植栽 「5本の樹」計画	86.2% RE100進捗率 (積水ハウスオーナーでんき) 39.5% サプライヤー SBT目標設定率	114.4万トン 廃棄物排出量
生物多様性保全	脱炭素化	資源循環						
97.2% 持続可能な木材調達比率 1,984万本植栽 「5本の樹」計画	86.2% RE100進捗率 (積水ハウスオーナーでんき) 39.5% サプライヤー SBT目標設定率	114.4万トン 廃棄物排出量						
社会関係資本 施工力・顧客基盤	<p>業界一の累積建築戸数を誇る強固な顧客基盤と、それを実現する施工力、当社グループと協力工事店が「運命協同体」の精神で結束する施工体制、カスタマーズセンターによるアフターサービス体制を通じて、長期にわたるお客様との結びつきを深めています。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建築戸数</th> <th>協力工事店</th> <th>アフターサービス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 266万戸 累積建築戸数 (海外含む) </td> <td> 2,858社 積水ハウス会 </td> <td> 積水ハウス カスタマーズセンター 積水ハウスリフォーム 積水ハウス不動産グループ </td> </tr> </tbody> </table>	建築戸数	協力工事店	アフターサービス	266万戸 累積建築戸数 (海外含む)	2,858社 積水ハウス会	積水ハウス カスタマーズセンター 積水ハウスリフォーム 積水ハウス不動産グループ
建築戸数	協力工事店	アフターサービス						
266万戸 累積建築戸数 (海外含む)	2,858社 積水ハウス会	積水ハウス カスタマーズセンター 積水ハウスリフォーム 積水ハウス不動産グループ						
財務資本 財務基盤	<p>持続的な成長を支えるためには、強固な財務基盤の確立が必要と考えています。国内の“安定成長”と海外の“積極的成長”を推進するとともに、信用格付けを意識した財務運営を行い、財務健全性を適正な水準でコントロールしていきます。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自己資本</th> <th>長期信用格付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1兆7,993億円 自己資本 40.3% 自己資本比率 (2024年度第1四半期末) </td> <td> AA 日本格付研究所 AA- 格付投資情報センター BBB+ S&Pグローバル・レーティング (2024年6月現在) </td> </tr> </tbody> </table>	自己資本	長期信用格付	1兆7,993億円 自己資本 40.3% 自己資本比率 (2024年度第1四半期末)	AA 日本格付研究所 AA- 格付投資情報センター BBB+ S&Pグローバル・レーティング (2024年6月現在)		
自己資本	長期信用格付							
1兆7,993億円 自己資本 40.3% 自己資本比率 (2024年度第1四半期末)	AA 日本格付研究所 AA- 格付投資情報センター BBB+ S&Pグローバル・レーティング (2024年6月現在)							

*1 集計範囲について、こちら(別ウィンドウで開きます)